

資料5 プロポーザル評価基準書別紙 審査委員会評価項目一覧

審査者:

No	大項目	中項目	小項目	配点	項目	提案を求める内容	【必須項目】 ○ 仕様充足 【加点項目】 非常に優秀な内容	【必須項目】 × 仕様不充足 【加点項目】 B 優秀な内容	【加点項目】 C 標準的な内容	【加点項目】 D やや劣る内容	【加点項目】 E 最低限の内容	評価 【必須項目】○/× 【加点項目】A~E	特記事項	点数
1	業務理解・全体構成	業務の理解	1.1.1	30	必須	【必須事項】 本業務の背景・目的について、以下の内容を正しく理解し、提案に反映していること。 『筑西市デジタル人材育成方針』の位置づけと目指す人材像 ・人口減少・職員数減少を見据えた業務効率化の必要性 ・BPR(業務改革)を実践できる人材の育成という目標 【評価の視点】 仕様書「1.(2) 本業務の背景」「1.(3) 当市の目指すICT人材」の理解が十分か。	○:仕様書の要求事項を全て充足している。(→満点)	×:仕様書の要求事項を充足していない。(→即失格)						
2			1.1.2	30	加点	【加点要件】 筑西市の現状(令和7年度実績、導入済みツール、行革DX推進リーダー・チャレンジャーの活動状況等)を踏まえた課題分析を行い、研修プログラムへの反映方針を具体的に提示していること。 ・令和7年度研修実績を踏まえた改善提案があるか ・導入済みデジタルツールの導入状況を理解しているか	「優秀な内容」に加え、提案内容が本市にとって有効かつ妥当な内容であり、具体的な説明がなされている。	「標準的な内容」に加え、提案項目に対して、十分な説明がある。	仕様書の記載事項に対し、対応の有無は確認できるが、独自の提案がない。	提案項目に対して、一部不明瞭又は記載がないものが含まれ、対応の有無の確認ができないものが含まれている。	内容に乏しく、提案内容として極めて不適切である。			
3		全体計画	1.2.1	50	必須	【必須事項】 履行期間(契約締結日翌日～令和9年3月31日)内で、各研修の実施時期・成果物納品期日を踏まえた実現可能なスケジュールを提示していること。 ・業務実施計画書:契約締結後3週間以内 ・研修資料:研修前1週間まで ・全職員向け研修動画:令和8年7月末日まで ・業務完了報告書:令和9年3月末日まで	○:仕様書の要求事項を全て充足している。(→満点)	×:仕様書の要求事項を充足していない。(→即失格)						
4			1.2.2	40	加点	【加点要件】 管理職研修・リーダー・チャレンジャー研修・幹部研修・動画研修の各プログラム間の連携性・一貫性を考慮した研修体系を提案しているか。 ・各研修が独立せず、相互に補完し合う設計になっているか ・年間を通じた段階的な人材育成の流れが示されているか	「優秀な内容」に加え、提案内容が本市にとって有効かつ妥当な内容であり、具体的な説明がなされている。	「標準的な内容」に加え、提案項目に対して、十分な説明がある。	仕様書の記載事項に対し、対応の有無は確認できるが、独自の提案がない。	提案項目に対して、一部不明瞭又は記載がないものが含まれ、対応の有無の確認ができないものが含まれている。	内容に乏しく、提案内容として極めて不適切である。			
5			1.2.3	30	加点	【加点要件】 受講者が主体的・能動的に研修に参加でき、研修後も自立して推進できるよう工夫があるか。 ・業務繁忙期を考慮した日程調整の柔軟性 ・欠席者への録画・動画提供等のフォロー体制 ・受講者の負担軽減に向けた具体的な配慮	「優秀な内容」に加え、提案内容が本市にとって有効かつ妥当な内容であり、具体的な説明がなされている。	「標準的な内容」に加え、提案項目に対して、十分な説明がある。	仕様書の記載事項に対し、対応の有無は確認できるが、独自の提案がない。	提案項目に対して、一部不明瞭又は記載がないものが含まれ、対応の有無の確認ができないものが含まれている。	内容に乏しく、提案内容として極めて不適切である。			
6	研修実施内容	管理職向け研修(副部長・部課長級)	2.1.1	50	必須	【必須事項】 以下の仕様要件を満たす研修を提案していること。 ・集合研修2回(2日間で1セット)、合計4時間以上 ・講師1名以上、メイン講師は対面必須 ・デザイン思考の習得プログラム ・管理職向けBPR演習(ECRSに基づく排除・結合・簡素化等) ・研修効果測定(理解度の定量的測定及び定性的アンケート)	○:仕様書の要求事項を全て充足している。(→満点)	×:仕様書の要求事項を充足していない。(→即失格)						
7			2.1.2	60	加点	【加点要件】 管理職の視点に立った効果的な研修プログラムを提案しているか。 ・市民目線の課題発見に向けたデザイン思考の実践的演習内容 ・ECRSフレームワークを活用したBPR演習の具体性・実効性 ・管理職として部下のDX推進を支援する力の醸成に資する内容か ・独自のノウハウを活かした創意工夫が見られるか	「優秀な内容」に加え、提案内容が本市にとって有効かつ妥当な内容であり、具体的な説明がなされている。	「標準的な内容」に加え、提案項目に対して、十分な説明がある。	仕様書の記載事項に対し、対応の有無は確認できるが、独自の提案がない。	提案項目に対して、一部不明瞭又は記載がないものが含まれ、対応の有無の確認ができないものが含まれている。	内容に乏しく、提案内容として極めて不適切である。			

19		3.3	作業管理	3.3.1	プロジェクト管理手法	20	必須	【必須事項】 本市との情報共有・進捗管理・課題管理の方法が具体的に示されていること。 ・業務責任者の設置(同種・同規模の研修事業運営管理経験者) ・事務局打ち合わせへの出席方針	○:仕様書の要求事項を全て充足している。(→満点)	×:仕様書の要求事項を充足していない。(→即失格)						
20		3.3		3.3.2	リスク管理・品質管理	20	加点	【加点要件】 研修実施におけるリスク管理・品質管理の方法を提案しているか。 ・講師の急な欠席等への対応策 ・研修内容の品質確保のための仕組み ・情報セキュリティ・個人情報保護への配慮	「優秀な内容」に加え、提案内容が本市にとって有効かつ妥当な内容であり、具体的な説明がなされている。	「標準的な内容」に加え、提案項目に対して、十分な説明がある。	仕様書の記載事項に対し、対応の有無は確認できるが、独自の提案がない。	提案項目に対して、一部不明瞭又は記載がないものが含まれ、対応の有無の確認ができないものが含まれている。	内容に乏しく、提案内容として極めて不適切である。			
21	実績・その他提案	4.1	類似業務実績	4.1.1	自治体向け研修実績	40	必須	【必須事項】 令和元年度から令和7年度までの間に、本業務と同種又は類似した業務の受託実績があること。 ・自治体職員向けDX人材育成研修の実績	○:仕様書の要求事項を全て充足している。(→満点)	×:仕様書の要求事項を充足していない。(→即失格)						
22				4.1.2	実績の質・規模	10	加点	【加点要件】 実績の内容が本業務に特に有益と判断できるか。 ・人口10万人規模の自治体での実績 ・複数年にわたる継続的な人材育成支援の実績 ・研修効果の定量的な成果が示されているか	・「優秀な内容」に加え、有益と考えられる理由が論理的に説明されており、その内容が妥当と判断される。	・「標準的な内容」に加え、本業務の特徴を踏まえて記載されている。	・業務の遂行に有益と考えられる実績が具体的に記載されている。	・加点要件で示す事項について、明示はあるが、一部不明瞭又は具体性に欠ける記載である。	・加点要件で示す事項について、明示がない、又は明示はあるが全体的に不明瞭又は具体性に欠ける記載である。			
23				4.2	自由提案	4.2.1	独自の付加価値提案	40	加点	【加点要件】 仕様書の要求事項を超える独自の付加価値提案があるか。 ・研修後のフォローアップ施策 ・他自治体の先進事例の活用 ・筑西市の今後のDX推進に資する中長期的な提案 ・その他、本業務の実効性を高めるための創意工夫	「優秀な内容」に加え、提案内容が本市にとって有効かつ妥当な内容であり、具体的な説明がなされている。	「標準的な内容」に加え、提案項目に対して、十分な説明がある。	仕様書の記載事項に対し、対応の有無は確認できるが、独自の提案がない。	提案項目に対して、一部不明瞭又は記載がないものが含まれ、対応の有無の確認ができないものが含まれている。	内容に乏しく、提案内容として極めて不適切である。	
配点合計						900										点数合計

【加点要件】

- ※1 前提条件に関する理解について、事例を交えた十分な理解を示すとともに、本市に資する提案における留意事項及び妥当性や有効性の十分な説明を明示すること。
- ※2 筑西市の現状(令和7年度実績、導入済みデジタルツール、行革DX推進リーダー・チャレンジャーの活動状況等)を踏まえた課題分析を行い、研修プログラムへの具体的な反映方針を明示すること。
- ※3 管理職研修・リーダー・チャレンジャー研修・幹部研修・動画研修の各プログラム間の連携性・一貫性を考慮した研修体系の全体像及び年間を通じた段階的な人材育成の流れを明示すること。
- ※4 仕様書の要求事項に対して、受講者のマインド形成と知識・スキル習得の両立、研修後の自立的推進を支援する仕組み等、創意工夫に基づく具体的な提案を明示すること。
- ※5 本業務の特徴を踏まえた上で、効率的かつ質の高い研修の提供が可能となる体制となるよう具体的な体制を明示すること。また、作業を遂行する上での体制上の留意点等がある場合には、妥当性や有効性等の十分な説明を明示すること。
- ※6 受託実績について該当する事例を多数保持する場合は、全て明示すること。また、特に本業務に有益と考えるものについて、その有益性の十分な説明とともに明示すること。